

「学びあいからつながる 人・街・自然」

NPO法人いよココロザシ大学

学長 泉谷 昇



いよココロザシ大学（以下…ココ大）

は2011年6月に開校した市民大学です。「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」をコンセプトに掲げ、市民、企業、NPO、行政などが持つ知識、技術、経験を「授業」という名で共有・発信しています。現在、市民学生として1500名以上が登録し、これまでに277名の市民先生が400回以上の授業を行い、のべ8000人以上の市民学生が参加しています。

フィルム・コミッションの課題改善

ココ大設立の背景は、筆者のもう一つの顔である「フィルム・コミッション」が関係します。映画・映像作品の撮影誘致支援を行うフィルム・コミッションは、撮影誘致に県内各地の魅力資源を発掘します。その発掘した魅力資源を撮影だけでなく、多くの方と共有したい！と思いいよココ大に発展させました。二つの活動は全くの別物ですが、フィルム・コミッションでも、ココ大でも魅力資源の

発掘・発信につながります。

「らしさ」の確立

ココ大授業の特徴は「学びあい」と「らしさ」です。「学びあい」とは一方的に教える、教わるではなく、先生も生徒も互いに学びあえる仕組みです。年齢も性別も知識や経験も異なる市民が同じ題材で学びあい、人や自然、街の魅力に気づき、主体的につながり、自分の言葉で愛媛の魅力伝えることを目指しています。

「らしさ」とは、「遊び心」「学びは最高に楽しい！」です。難しいことも教え方次第で理解度が深まります。そこで「今までなかった切り口」「夕食時に思わず話してしまう話題」「愛媛っていいな！」と感じていただける工夫をしています。これは、ココ大のホームページアドレス「www.1455634.jp」のドメインからもお分かりいただけるでしょう。「1（い）、4（よ）、5（こ）、5（こ）、6（ロ）、3（ザ）、4（シ）」です。

主役は授業コーディネーター

そんな授業の開発、運営を担うのは「授業コーディネーター」とよぶボランティアスタッフです。全員が本業を持ちながらの活動で、授業開発には自分の時間や知恵、手間を割くのに携わるには理由があります。その一つは「達成感、や



授業の打ち合わせの様子（中島）

「興居島十七夜・アートな提灯」授業
(興居島泊地区)



りがいい、自己肯定感」です。自ら創った授業に、市民が共感し参加してくださるのはお金では買えない喜びです。自らの楽しみが、参加者の楽しみにもなり、愛媛の魅力発掘・発信ができたら自信にもつながります。これは売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」と同じ考え方です。

授業コーディネーターが創った授業を紹介します。一つは「閉店後の本屋さんナイトウォーカー」。ジュンク堂さん教室に自分の知らない分野の本の魅力について店長さん達からツアーガイド形式で学びました。「描いて触れる世界の名画」では、名画に魅力を感じた授業コーディネーターが、作品の背景や作者の気

持ちを感じたいと、ムンクの「さけび」、フェルメールの「青い首飾りの少女」を題材に作者の気持ちになりきり描く授業でした。また、「スタート！ジョグライフ」では、ジョギング初

心者を対象に、馬拉ソンの魅力にハマった先生から楽しく走るコツを学びました。そして「興居島十七夜・アートな提灯」は、興居島の泊地区に伝わる提灯を飾る祭「十七夜」が人口減少などで提灯を飾る家が少なくなったため、興居島小中学校の生徒、先生、ダイケアサービスの方々、市民らが「願い提灯」として提灯づくりに参加し、計180個の提灯を飾りました。

授業の広がり

これらは400回以上の授業のごく一部ですが、どのような効果、成果を創出しているのでしょうか？

「閉店後の本屋さんナイトウォーカー」は過去2回とも定員の4倍の申し込みがありました。ジュンク堂さんともご縁が深まり、過去に授業で取り上げた書籍などを集めた「ココ大ブックフェア」につながりました。

「描いて触れる世界の名画」では、仕事帰りに気軽に絵を描けたりフレッシュ感が好評で「次回はいつ開催？」と、参加



「あつばれ進水式」授業 (伯方島)

者からリクエストが挙がり、初対面同士の参加者でしたが同じ関心テーマでつながりました。

「スタート！ジョグライフ」では、授業終了後に学生同士が「愛媛馬拉ソンへ向けて一緒に練習しよう！」と意気投合し、グループで馬拉ソン練習を行いました。

「興居島十七夜・アートな提灯」は、厳島神社、興居島汽船、興居島小中学校、ダイケアセンターなど、多くの方とのつながりを生みました。特にダイケアセンターの利用者からは「昔を思いだす」「提灯を久しぶりに創った」などの感想もいただき、思い出や記憶まで受け継ぐことができました。多種多様な内容、十人十色の学び方があってもいいと思いますが、全ての授業は「共感によるつながり」を生みます。

大切にしていること

魅力資源の数×手法×先生の数を掛け合わせるとユニークな授業が誕生します。しかし、教えたいと思ってもすぐに先生にはなれません。理由は「先生が行

Angle -アングル-

「ワンダーえひめ」公開授業
(大街道商店街)



と、学びあえること」のバランスを大切にしています。

1000以上の

妄想アイデア

また、市民の学びたい声を集めた「妄想授業」があります。これは「どんな授業を受けたいですか？」というアンケートで、これまでに1000名以上の市民が自分の受けたい授業を考えました。「水切りから物理の法則を学びたい」「世の中を全て数字に置き換えた



「かまほこタワー」妄想授業

「シニア層」の参加が少ない点です。現在30代〜40代の学生登録者が55%以上です。今後は「こども・親子対象」「シニア層対象」の授業も増やしていきたい、誰でも学べる環境を構築します。

定期授業が増えるとなり多くの学びあいが誕生します。

最近注力している企業との「コラボ授業」も実績が増えてきました。しかし、ココ大にも課題があります。例えば、すでに県内20市町で授業を行いました。各地で定期的に授業を行うには人的にも金銭的にも体制的にも脆弱です。各地で「いよココロザシ大学○○キャンパス」が立ち上がり、協力が可能となり定期授業が増える

企業のファンづくり

い「プロ選手から精神力を学びたい」「愛媛から世界新に挑みたい」「松山城で合戦し歴史を学びたい」「カワウソを探したい」「名も無い山と海料理を学びたい」など、妄想アイデアは1000以上となりました。今後は「妄想授業」の中から実施する授業も増えるでしょう。

学びの可能性

年齢や性別、経験、国籍などに関係なく、誰でも学びあえます。教えることは最大の学びであり、人は学び続けることで一生成長し続けると思います。社会に出た人こそ、学びを通して社会を知り、人を知り、自分を知ることの大切さを感じて欲しいです。学び方は人それぞれ、自分に合った学びに出かけましょう！



「街中遍路歴史散策」授業 (松山)